

40 代以上のラグビー愛好家が対抗戦形式でプレーする「三惑大会」が、今年は福岡で行われ、熱戦が繰り広げられました。私も参加し、全力でプレーしました

福岡県議会議員(博多区)

坪田すすむ

通信

Vol.8

2025 春号
2月定例会報告

県の九大ファンドへの出資 福岡発の新産業創出を

2月定例会 一般質問

AIや半導体、バイオ、宇宙、量子コンピューターといった社会課題を解決する革新的な技術は「ディープテック」と呼ばれています。こうした技術の社会実装は、国や世界レベルの経済社会課題の解決にもつながる可能性もあり、潜在力を秘めた技術として期待されています。

ただ、ディープテックが社会実装されるまでには時間、資金の面でのコストが大きく、事業として成立するのか、既存のビジネスモデルに適用できるのかといった課題もあります。

福岡県は2月議会の補正予算に、九州大学が産学官連携により設立した、大学発ディープテックスタートアップ支援「九大イノベーションチャレンジファンド」への5億円出資を盛り込みました。福岡県のディープテック支援の取り組みについて質問しました。



福岡県のスタートアップ支援実績

坪田：福岡県はこれまで、どのようなディープテックスタートアップ支援に取り組んできたか。

県：バイオや宇宙、IT など分野別に産学官の連携組織を設立し、

- 起業間もない資金力に乏しいスタートアップに対する新製品・新技術開発への助成や、専門家による伴走支援



- ベンチャーキャピタルなど投資家の前で、自社技術やビジネスプランをプレゼンし、資金調達を図るピッチイベントの開催

- 実用化した製品やサービスの販路拡大のための大型展示会への出展支援



などに取り組んできた。

こうした取組の結果、

- 独自のゲノム編集技術を活用して医薬品の開発に取り組み、大手製薬企業と総額 200 億円超のライセンス契約を締結し「エディットフォース」

- バイオ 3D プリンターを用いた再生医療技術開発で注目を集め株式上場を果たした「サイフューズ」

- 昼夜・天候を問わず地表を観測できる世界最高水準の小型 SAR 衛星開発で株式上場を果たした「QPS 研究所」

- 高セキュリティの衛星通信システムを開発するなど、先進的な IT 製品の開発に取り組み、株式上場を果たした「フュージック」



など、優れたスタートアップが次々と誕生した。

九大イノベーションチャレンジファンド 研究成果の「事業化」を支援

坪田：ディープテックスタートアップが成長することにより、地域経済が活性化し社会変革をけん引してくれるものと期待される。九大イノベーションチャレンジファンドの目的は。

県：大学の研究成果を市場ニーズに合わせて製品化するためには、実証実験や試作品開発に伴い大きなコストがかかる。しかし、国の科学研究費の対象外であり、ファンドから資金を得るのも難しく「魔の川」といわれる。

九大イノベーションチャレンジファンドは、起業後の新株予約権の取得を条件に、大学の持つ研究成果の事業化を支援し、一定程度成長した後、早期に売却す



る。売却益を次の支援のための原資とし、スタートアップの創出を展開していく目的で設立された。



九州大学はバイオや宇宙、AI など、先端技術分野に強みを持ち、年間 100 件以上の発明届が出されるなど、ディープテックスタートアップ創出に大きな役割を果たしている。県もファンドに出資することで、学術研究段階から起業まで切れ目ない支援を行い、地域経済の活性化にもつなげたい。

坪田：県は今後、スタートアップ支援どう取り組むか。

県：今春、世界的なスタートアップ支援機関「CIC（ケンブリッジイノベーションセンター）」が、アジアで2か所目となる拠点「CIC 福岡」を福岡市天神の「ワン・フクオカ・ビルディング」内に開設する。

この機を捉えて「CIC 福岡」内に、県として初めてのスタートアップ支援拠点となる「グローバルコネクト福岡」を設置する。専門スタッフを配置し、イベント等を通じてビジネスマッチングの支援を推進し、海外との幅広いネットワークを持つ CIC と連携して、世界から企業や資金、人材などが集積し、新たな産業を創出し、地域経済の活性化を図っていく。

活動報告



「JR 連合福岡県協・JR 九州労組福岡地区 交通重点政策意見交換会」に出席



「交通運輸・観光サービス産業に係る政策・制度要求」に係る回答式に出席



立憲民主党は「改革断行の夏！キックオフ集会」を福岡市博多区で開催し、政治改革に向け結束を誓いました。（写真左から、野田くによし参議院議員、坪田すすむ、野田よしひこ党代表、藤田桂三連合福岡会長）



2期目の当選を果たされた服部誠太郎福岡県知事と挨拶し、よりよい県政運営に向けて意見交換しました

Career

87年 正光寺ひかり幼稚園（博多区）
90年 板付小学校入学
94年 塩原小学校入学（筑紫丘Jrラグビークラブ）
96年 福岡市立春吉中学校入学（筑紫丘Jrラグビークラブ）
99年 福岡県立筑紫丘高等学校入学（ラグビー部）
03年 早稲田大学 文学部入学（ラグビー部）
07年 NPO法人福岡すまいの会入職（ホームレスの自立支援）
14年 社会保険労務士資格を取得 博多駅前に事務所を設立
14年 車いすラグビーチーム「福岡ダンデライオン」設立
21年 衆議院議員選挙立候補（福岡1区選挙区）
23年 福岡県議会議員選挙 初当選

Mission

民主県政クラブ県議団
議会運営委員会 委員 / 文教委員会 委員
スポーツ立県調査特別委員会 委員
ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会 委員
社会保険労務士
車いすラグビーチーム「福岡ダンデライオン」顧問
NPO法人福岡すまいの会理事
一般社団法人てとて（障がい者のグループホーム）理事

Office

Tel 092-710-4930 Fax 092-710-4931
〒812-0045 福岡市博多区東公園5-18ヴェルゾン東公園1F（事務所）



SNSリンク

LINE

X

facebook

instagram

youtube

homepage